

平成21年度地域スポーツ指導者育成推進事業 取組事例

都道府県名 埼玉県 受託団体名 NPO法人 スポーツ・サンクチュアリ・川口

事業テーマ 優しさと厳しさを併せ持つ、こころが動くメディカルリハフィットネスを理解する

地域スポーツ指導者育成事業の普及啓発

【テーマ設定の理由】

埼玉県においては以前より、指導者のスキルや指導の質について、盛んに議論されてきました。そのなかでは、参加者の方々のこころの動きを健全に引き出すこと、科学的・技術的に正しい知識で指導できることが特に重要であり、また現在の指導者に足りない部分として挙げられていました。

今回のテーマ設定においては、スポーツ指導者として、メンタル(こころの動き)フィジカル両面(身体の動き)での、より高度な指導スキルを求められる、「少・青年期」および「高年期」の指導法2つの世代を対象としたスポーツ指導法を取り挙げることにいたしました。

地域スポーツ指導者育成推進委員会

委員長 宮内孝知
早稲田大学スポーツビジネス研究所所長

アドバイザー委員 大久保俊彦
西横浜国際総合病院関節外科センター長

プログラム作成部会 長畑芳仁
武蔵丘短期大学専任教員

プログラム作成部会 松本和也
NPO法人骨・関節研究会理事

プログラム作成部会 羽田裕美
管理栄養士 健康運動指導士

プログラム作成部会 山口玲香
公認スポーツ指導員

指導者発掘部会 木村一郎
埼玉県教育委員会 埼玉県立スポーツ研修センター

指導者発掘部会 平野古美
埼玉県広域スポーツセンター総合型クラブ専任指導員

指導者発掘部会 加藤裕之
(財)埼玉県体育協会クラブ育成アドバイザー

指導者発掘部会 河井宏暢
ふあいぶるクラブ運営協議会委員長

兼任 川島克夫
ふあいぶるクラブ運営協議会副委員長

兼任 小野崎研郎
ふあいぶるクラブ運営協議会副委員長

受託団体名 NPO法人 スポーツ・サンクチュアリ・川口

【受託団体概要】

・設立年月日 平成 15年 8月 15日 設立

・所在地 川口市上青木3-12-63 彩の国ビジュアルプラザ903号

・特色 0歳から100歳までの方々を対象として、多世代が楽しみながら続けられる、健康づくりプログラムを中心に教室を運営しています。

・会員数(H21.7.1現在) 324 人 ・定期活動種目数 3 種目

・平成21年度総予算額 19,900,000 円

協カクラブ・団体

- ふあいぶるクラブ運営協議会
- (財)埼玉県体育協会
- 埼玉県教育委員会埼玉県立スポーツ研修センター
- NPO法人骨・関節研究会

【上記機関・団体と連携をとった効果】

埼玉県立スポーツ研修センターの協力で、終了証を発行いただくと同時に、ふあいぶるクラブ運営協議会からの推薦もいただくことで、埼玉県スポーツリーダーバンクへの登録が進みました。また、クラブへのアンケート調査や参加者を発掘する際にも各団体にご協力いただき、効率的に参加者を募ることが出来ました。テキスト作成の際にも、原稿作成やアドバイスをお願いし、内容の濃いものとする事が出来ました。

①地域スポーツ指導者育成推進委員会

◆実施概要

年2回開催。
事業開始時に開催し全体の方向性及び、テーマ講習内容やカリキュラム、募集方法など、事業の大枠を決定する。
事業終了時には、当該年度の課題を検討し、次年度の事業内容を検討する。

◆評価

各々の立場から見た、現状と課題について積極的に、ご意見を出していただき、活発な議論が交わされている。結果として、方向性、内容ともに的確なものとなっている。

プログラム作成部会

◆部会のねらい

理論、実技、両方の面から検討を行えるメンバーで構成し、どちらか一方に偏り過ぎない内容とすることに配慮。スポーツ指導時における基本的な指導内容と、地域の求める指導者のスキルを踏まえた上で、どのようなものが講習としてふさわしいのか、内容を検討しカリキュラムを作成する。

◆実施概要

年に2回程度開催。
推進委員会で決定された方向性に沿って、基礎講習会やテーマ講習会のカリキュラム組み立て、講師の選定、テキスト内容の作成、監修などを行う。

◆評価

理論的、精神的な内容だけでなく、現場で使える知識や実技を取り入れたことで、指導者の求める講習内容となり、全体のバランスがとれるようになっている。参加者からも好評をいただいている。

発掘部会

◆部会のねらい

各組織の代表者を組織することで、総合型地域スポーツクラブだけでなく、さまざまな所属のスポーツ指導者に告知することを可能とする。また、指導者の活用が効率的に進むように、各組織の代表として、推進の方法を検討する。

◆実施概要

年に3回程度開催。
推進委員会で決定された方向性に沿って、人材の発掘や活用・定着について検討・実施する。
また、参加者募集の際の広報活動についても、検討だけでなく実働面でのご協力を頂く。

◆評価

参加団体の協力により、さまざまな分野からの参加を得ることができた。またふあいぶるクラブ運営協議会の推薦と、県立スポーツ研修センターの協力により、スポーツリーダーバンクへの登録を可能とし、育成と活用が促進された。次の段階では定着を狙っていく。

基礎講習会

◆講習会のねらい

スポーツ指導者として、基本的・初歩的な事柄を理解し、身につけること。
参加者のケガや事故の発生を防ぎ、スポーツを楽しみ、スポーツ離れを起こさないための一定のレベルの知識・技能を身につけてもらえるような講習内容となっています。

◆実施概要

2日間の講座を開催する。概要は以下の通り。

◎概念理解

◆地域スポーツ指導者に必要な資質 ◆スポーツ指導者活動の広がり

◎指導方法について

◆指導現場のマネジメント ◆参加者のモニタリングとプログラム構成

◆ストレッチ・コアトレーニング

◎身体の基本知識

◆運動生理学、基本解剖学 ◆スポーツにおける医学的知識

◎現場のマネジメント

◆総合型地域スポーツクラブの運営 ◆クラブのリスク管理(指導中の危機管理)

◆参加者数 74名(過去2年 延べ)

◆活動の様子



◆評価

各部門の有識者のご協力により、非常に内容の濃いものとなりました。
基礎とはいいながら、各講師にはスポーツ指導のかなり深い部分までお話いただき、参加者だけでなく、運営側の人間も、大変参考になる内容となりました。

テーマ講習会

◆講習会のねらい

「少・青年期」および「高年期」の指導法を身につける。
特に、メンタル面(こころの動き)フィジカル面両(身体の動き)での、指導スキルを求められ、実際に参加者からの要望も強かった、2つの世代を対象としたスポーツ指導法を理解していただきます。

◆実施概要

各テーマ1日の講習を実施する

◎ 青・少年期を対象とした指導法

◆競技力をつけるためのコアトレーニング ◆成長過程での解剖学・運動生理学

◆コーディネーション など

◎ 高年期を対象とした指導法

◆体温管理 ◆モニタリング ◆チームリレーションシップ ◆関節の可動域 など

◆参加者数 137名(延べ)

◆活動の様子



◆評価

現場で求められている内容であり、基礎講習よりも多くの方々に参加していただきました。
内容的には、スポーツの指導時に特に気をつけたい世代へのアプローチ方法が、主となっています。
実技を織り交ぜ、現場ですぐにも使える内容にも配慮したものが出来たと思います。

本事業の成果

「地域スポーツ指導者の資質」に関する調査を行い、指導の現場で求められている人材の質について把握することができました。その結果を受けて、委員会メンバーである有識者の持つノウハウを、県内クラブのニーズに合わせ、体系立てた教材としてまとめることができました。また、基礎講習の講師陣も委員会メンバーに依頼し、非常に質の高い内容となっていると感じています。
平成21年度には基礎講習に加え、テーマ講習として、怪我を 방지パフォーマンスを向上させるコアトレーニングの個別指導法や、運動器野を保持する中高年者体操指導、子どもたちの可能性を広げる基礎スポーツ指導と、指導対象者別に具体的なテーマに沿って実施することができました。

理論的なことだけでなく、指導現場で実際に使える内容を実技として取り入れることで、各クラブの指導者の質の向上や数の向上に貢献することができたと考えております。

本事業の課題と今後の取組

現段階での課題としては、参加数に限界がある点と修了者のクラブでの活用が進んでいないという点が挙げられます。参加人数の増加に関しては、講習内容の質を高めるためにはある程度的人数が限界となることを考慮するとやむを得ない部分があるので、核となる人材を育成して、そこからの波及効果を狙うことが検討されています。

また、修了者がスポーツリーダーバンクへ登録していただいても、登録者の活用が進んでいないという現状があります。知らない指導者にはお願いしにくいという意見もあります。このことを踏まえ、本年度は一歩進めて、クラブとのマッチングの為に、各クラブでの研修を実施します。

次年度以降は、研修・認定のための組織の立ち上げを検討しており、関係者と組織の役割について協議の上、指導者の質の向上を継続的にこなしていく予定です。